

お試し乗車券配布等の6年間のMMの取組による利用者定着までの道のり

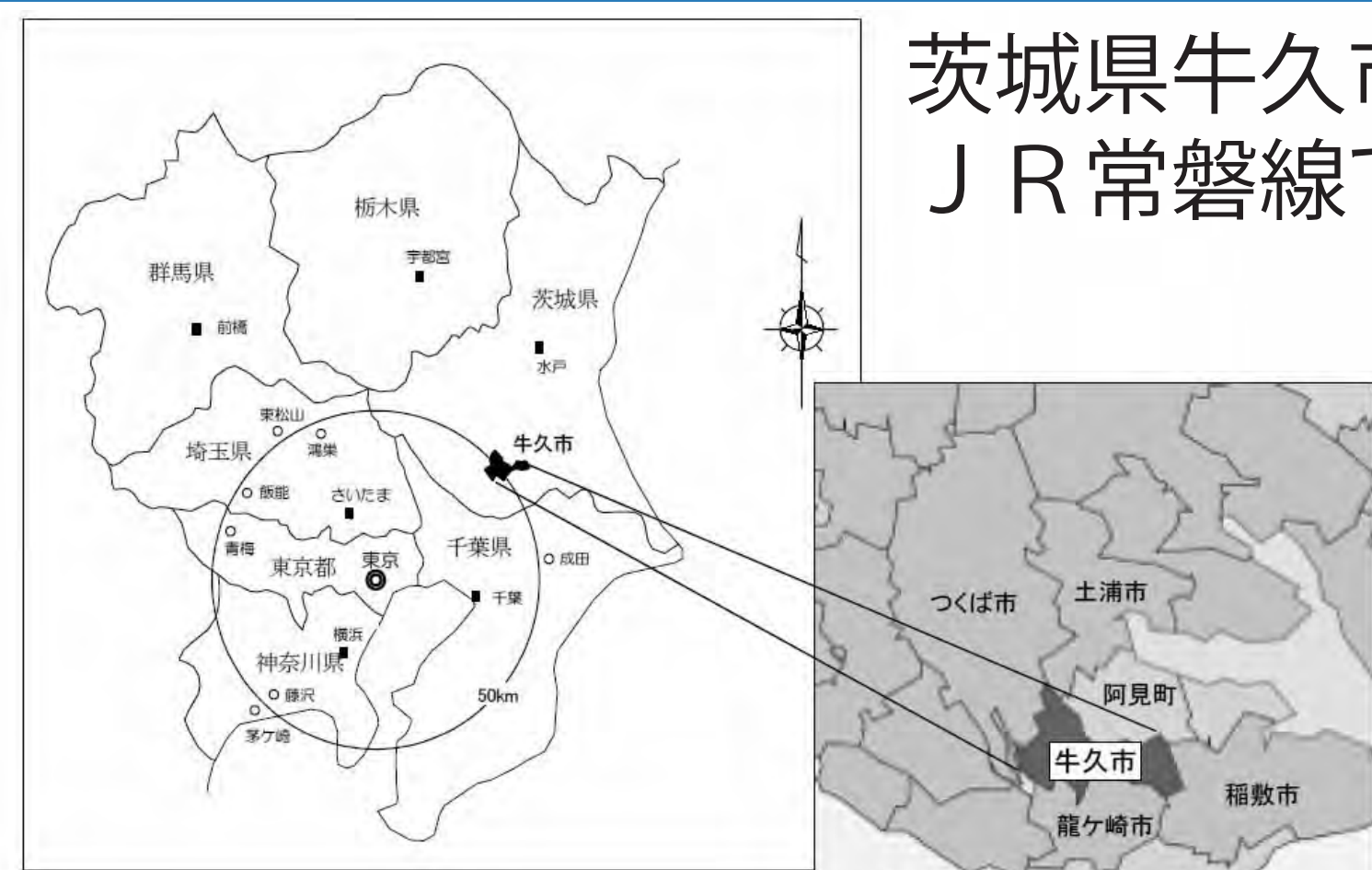
和田 早永 / (株)アルメックVPI 国内事業本部
 内山 征 / (株)アルメックVPI 国内事業本部
 山根 学 / 牛久市経営企画部 政策企画課 公共交通対策室 室長
 山口 大輝 / 牛久市経営企画部 政策企画課 公共交通対策室
 岡本 直久 / 筑波大学 システム情報系 社会工学域 教授



キーワード

- ・居住者MM
- ・バス利用促進
- ・コミュニティ・バス
- ・MM評価

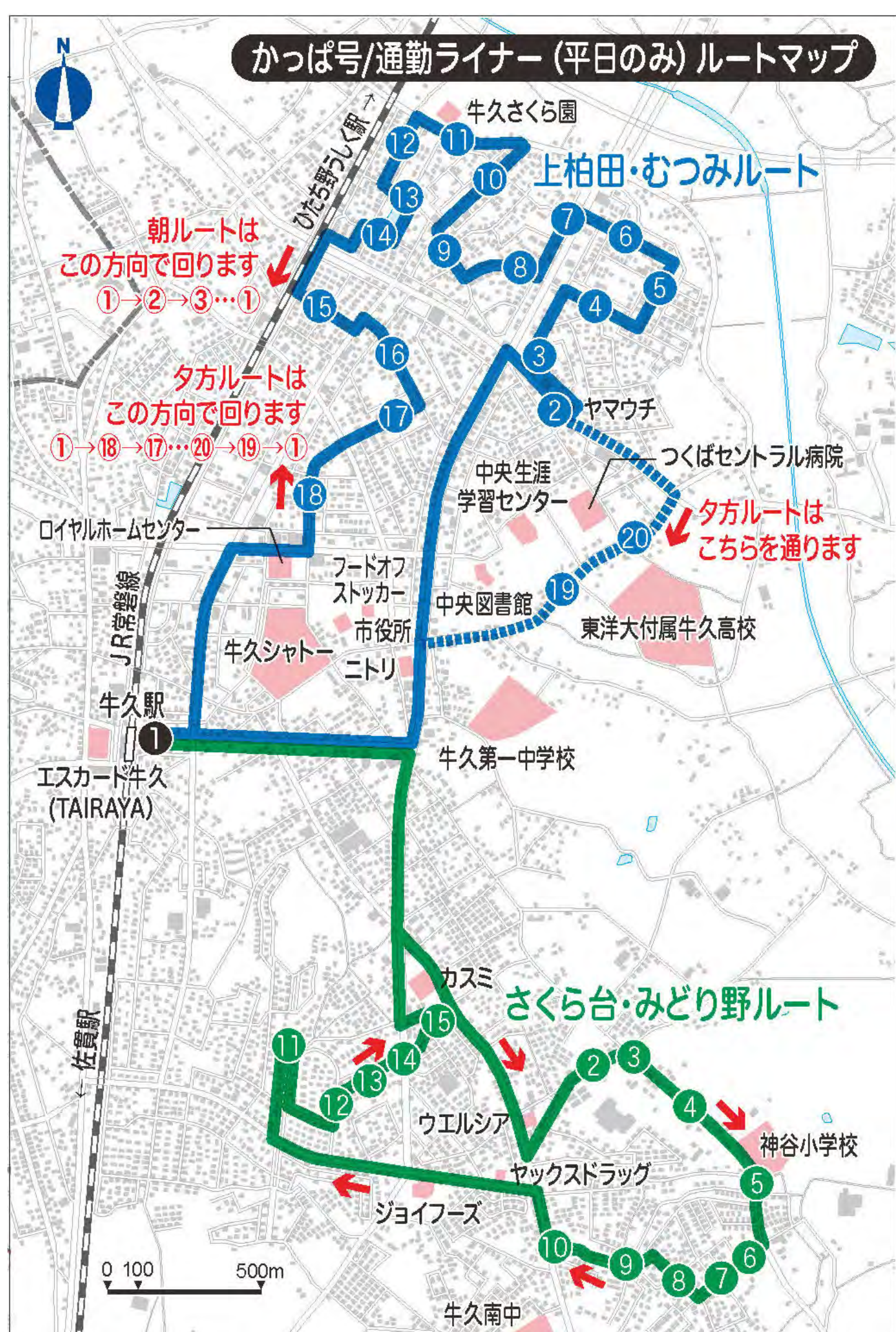
背景と目的



茨城県牛久市は東京から約50kmに位置し、JR常磐線で東京へ通勤可能な立地である。

通勤時間帯のJR牛久駅東口駅前広場は送迎車で混雑しており、駅前広場改良に合わせたK&Rスペース規模の適正化と共に公共交通の利用促進が求められた。

＜牛久市の位置＞



＜かっぱ号通勤ライナールートマップ＞

H23年度 MM実施

- ・啓発冊子配布
- ・個別アドバイス
- ・行動プラン法

H25年4月～牛久市コミュニティバスかっぱ号通勤ライナー運行開始

- H23年度MMの結果から公共交通利用への転換が期待できる2ルートが対象
- 朝夕の通勤時間帯に住宅地と駅を短時間で結ぶ

運行開始後MMを継続的に実施することで、自家用車での送迎から通勤ライナー利用への転換を狙った。

プロジェクトの内容

- 内容 無料で乗れる「お試し乗車券」付きの路線図・時刻表と健康・環境・経済面での啓発冊子を配布
- 対象 通勤ライナー沿線の全世帯
- 実施期間 運行開始のH25年から6年以上に及び配布を継続中
- 実施月 入学や就職で行動変化が大きい4月と、利用者数が落ち込む傾向のある冬の始まる12月の年2回

牛久市コミュニティバスかっぱ号通勤ライナー 上柏田・むつみルート

無料で乗車できるお試し乗車券付き

通勤ライナーは平日朝夕の通勤時間帯に運行しています。目標はご利用ください。

バス種別	上柏田・むつみルート	さくら台・みどり野ルート
上柏田・むつみルート	上柏田・むつみ	上柏田・むつみ
さくら台・みどり野ルート	上柏田・むつみ	さくら台・みどり野

上柏田・むつみルートお試し乗車券の
 平成31年4月1日から4月26日の期間に通勤ライナーに1回無料で乗車できます。ぜひ利用してみてください！

上柏田・むつみルートお試し乗車券の
 平成31年12月1日から4月26日の期間に通勤ライナーに1回無料で乗車できます。ぜひ利用してみてください！

あなたの毎日に公共交通をプラスしてみませんか？

公共交通を使う生活のいいところは…？

自動車はとても便利で快適な移動手段ですが、自動車の移動には思ったより多くのCO₂を排出しています。

健康増進
 1時間自動車移動するかわりに、徒歩・自転車移動すれば、消費カロリーは1.5倍以上(172kcal)になります。

環境にやさしい
 CO₂削減効果は約1.5倍です。

自動車の維持費がからない
 自動車にかかる費用は、購入だけでなく、燃料代、保険料、税金、駐車場代などの維持費がかかります。

送迎時間の有効活用
 乗車の所要時間は約20分、送迎時間は約30分です。

市民の声
 「主人がかっぱ号を利用したことで送迎がなくなり、時間が有効に活用できるようになりました。」

裏面にかっぱ号のお試し乗車券があります。かっぱ号に無料で乗れます。この機会にぜひかっぱ号を利用してみてください！

＜お試し乗車券付きの路線図・時刻表＞

＜啓発冊子＞

利用実績やアンケート調査により定期的に効果を検証し、牛久市地域公共交通会議でモニタリングしている。

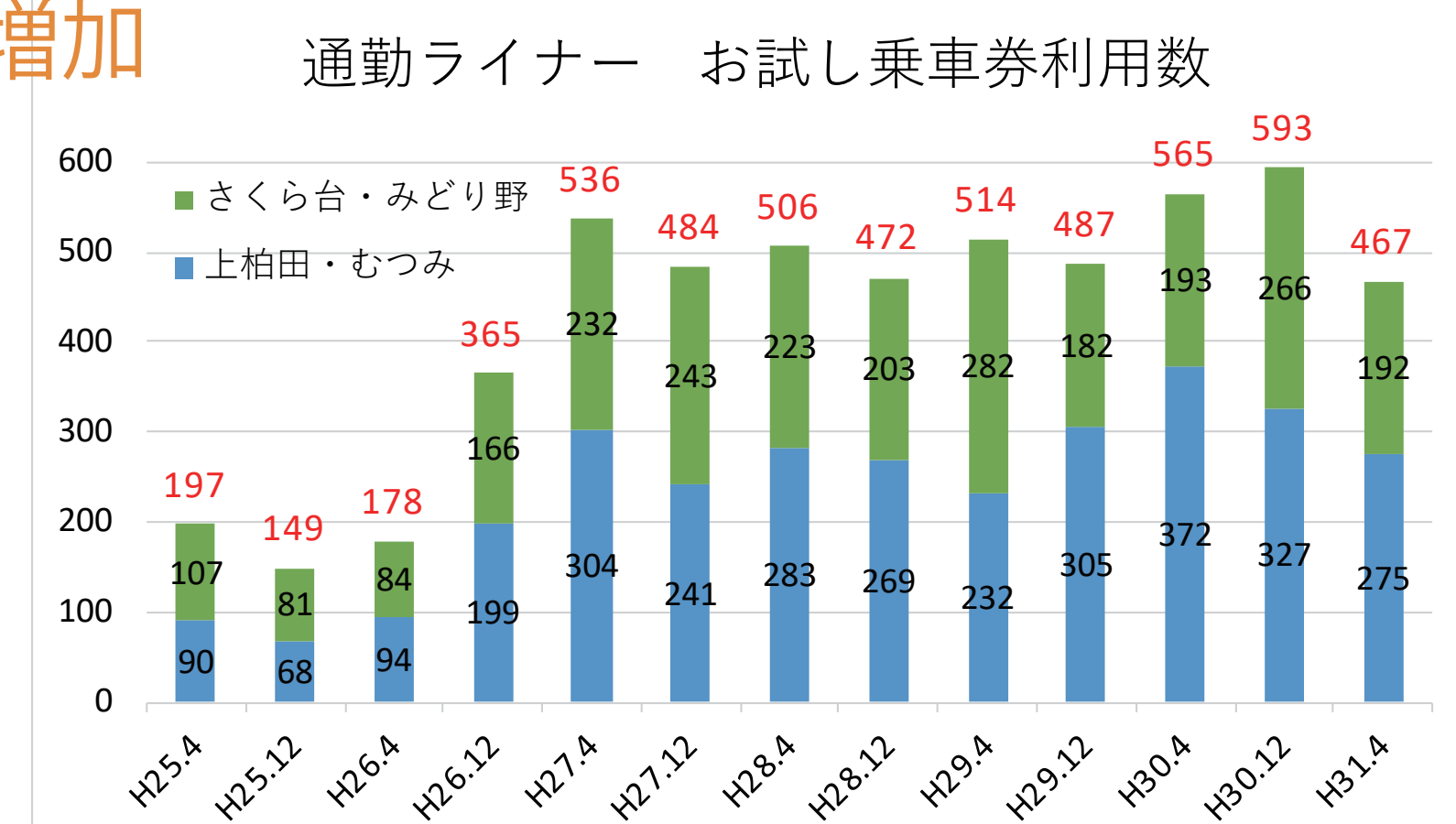


＜牛久市地域公共交通会議＞

お試し乗車券の効果

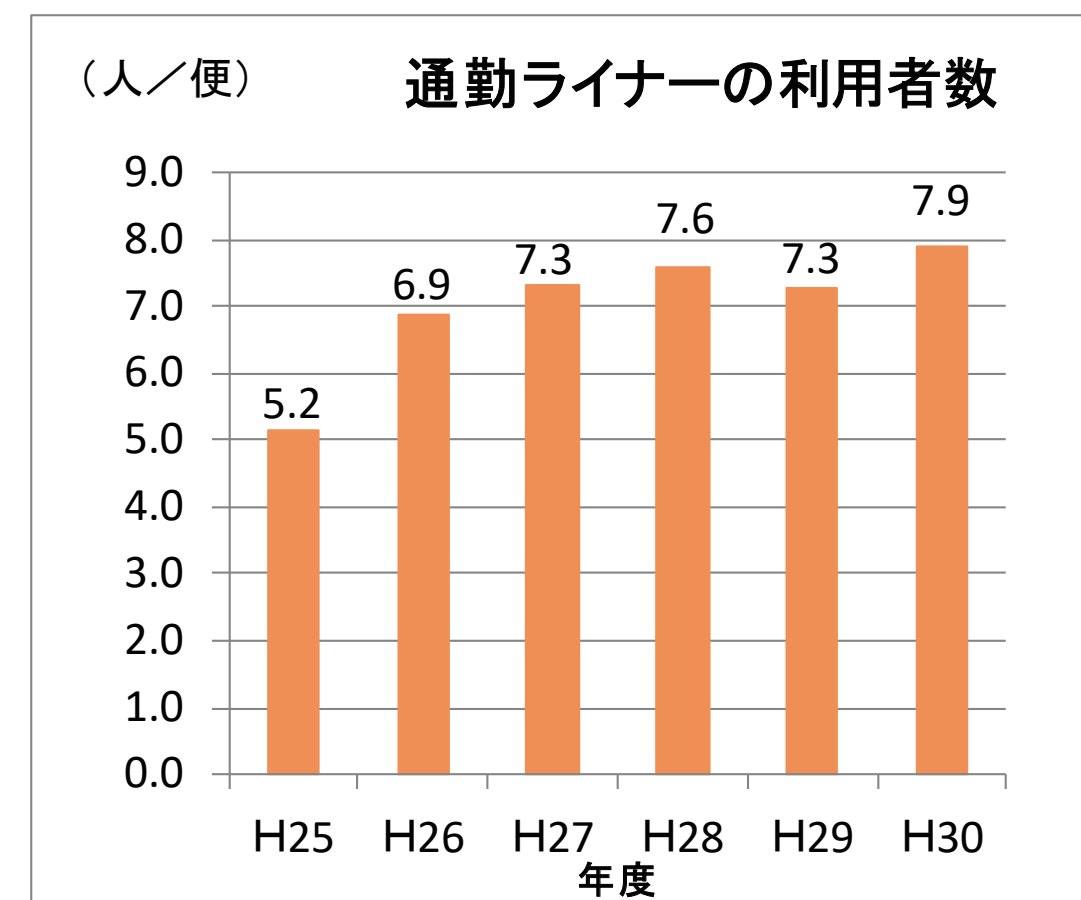
●お試し乗車券の利用枚数の増加

お試し乗車券は、H25年4月は197枚の利用であったが、H30年12月は593枚利用された。



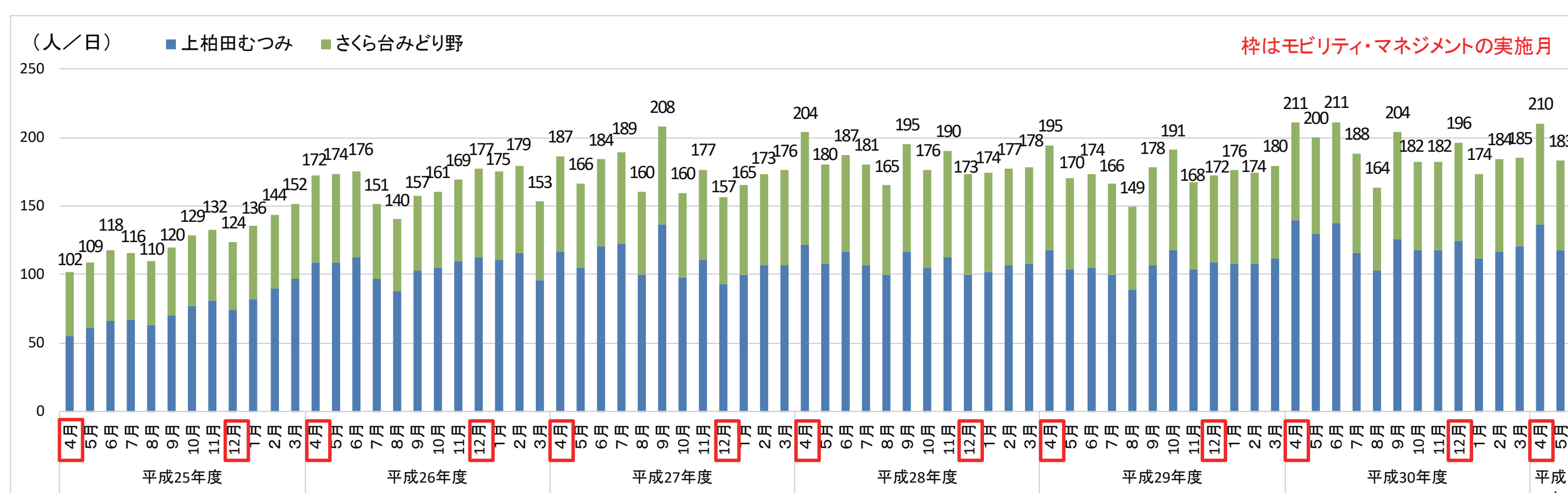
●通勤ライナー利用者数の増加

H25年度のMM開始当初の通勤ライナー利用者は5.2人/便であったが、H28年度まで増加し続け、H29年度以降は利用者が定着し、1.5倍の7～8人/便で推移している。



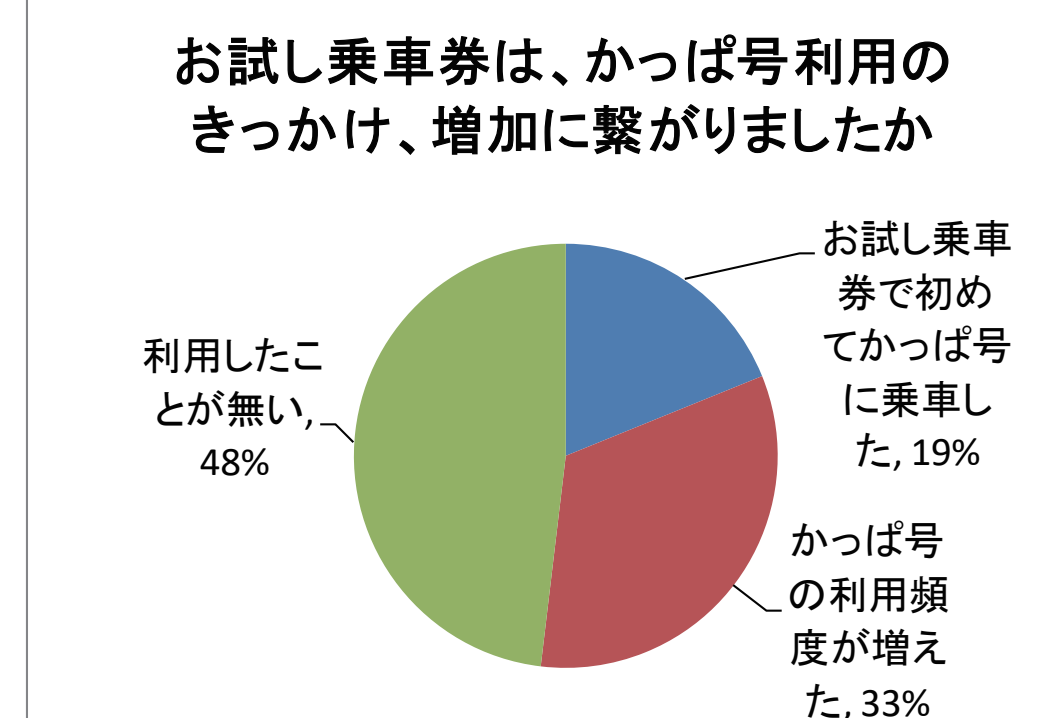
●配布後の利用者数増加へ貢献

配布月は前月よりも利用者数を増やす傾向があり、配布月以降の利用者数の増加にも貢献している。



●利用機会の創出・増加

沿線市民アンケート調査でも、お試し乗車券が利用機会の増加に繋がったとの回答が約5割である。



結論と今後の展開

- お試し乗車券は、公共交通利用への転換のきっかけとなり、利用機会の増加に繋がっていることが分かった。
- 新設路線は運行開始から徐々に周知され利用者数が伸びる特性があるが、お試し乗車券配布で伸びを加速できると考えられる。
- 通勤ライナーは運行開始から4年で利用者数の伸びが鈍化し、定着してきた。今後はさらに利用者を増やす新たな工夫が必要である。

その他の取組

通勤ライナーに関する、その他のMMの内容を紹介する。

- イベントで公共交通ブースを設置
- 公共交通マップの作成・配布

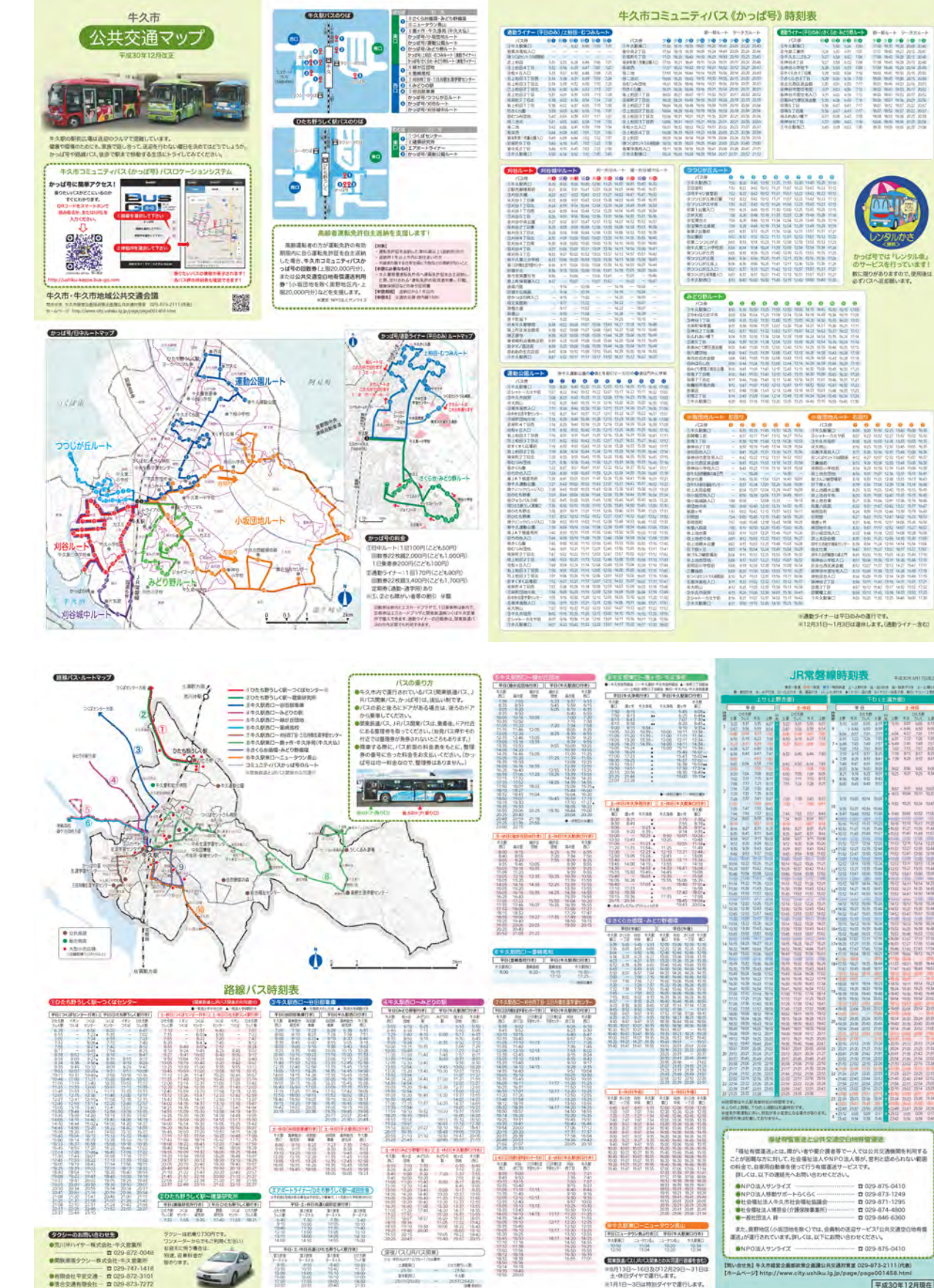
公共交通アンケート

では、かっぱ号の認知度が99%であり、市民に認知されていることがわかった。

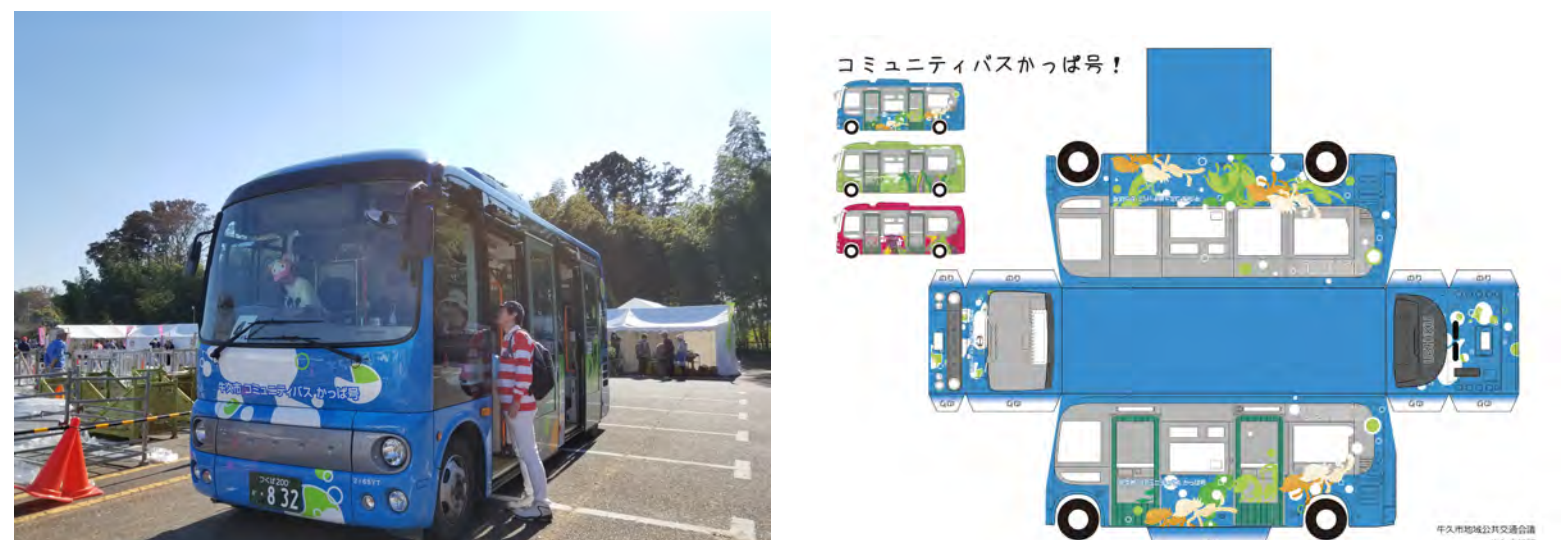
かっぱ号を知っていますか？
 知らない: 0.9%
 知っている: 99.1%



＜公共交通アンケートと回答者へのくじ引き＞



＜牛久市公共交通マップ＞



＜かっぱ号の車両展示＞＜ペーパークラフト＞